

社会福祉法人ぶる一む
令和5年度事業報告書

令和5年度は、ぶる一むの森を開設して丸10年、ぶる一むの風を開設して丸5年を迎えることができました。新型コロナウイルスは5類となりましたが、引き続き利用者とその家族、ぶる一むのスタッフ全員の安心・安全を第一に、各事業所の行事・交流・余暇等の活動に取り組んでまいりました。ぶる一むの風診療所では、コロナ患者は減少しましたが、インフルエンザや溶連菌などの発熱外来などの対応など、ご利用者やその家族、地域の方々の健康に対処してきました。また「ぶる一むカフェ」、子ども食堂「ぶる一むクラブ」、まちの保健室「風らっとルーム」の取り組みが地域において、人と人、人と資源が世代や分野を超えて繋がり、普段の暮らしの中で穏やかに支え合う社会の実現に寄与し定着してきていることを実感しています。また「笑福祭」も短時間ながら再開することができました。

施設所在地

- ぶる一むの森
〒277-0085 千葉県柏市中原1817番1
- 児童発達支援 ひだまりっこピーチ
〒277-0084 千葉県柏市新柏3-3-8石塚ビル1階
- 共同生活援助 風の木
〒277-0921 千葉県柏市大津ヶ丘1-43-7
- 地域生活支援拠点 ぶる一むの風
〒277-0085 千葉県柏市中原1817番1
- ぶる一むの風診療所
〒277-0085 千葉県柏市中原1817番1

1. 各事業所テーマ

児童発達支援 ひだまりっこ	年少～年長の3学年の就学前の児童の自立心を育むことができるよう、親子分離とマンツーマンの体制により、一人ひとりに合わせたからだづくり・身辺自立など様々な療育プログラムを行います。コロナの収束をみながら、遠足を目標にした活動、地域交流、スタッフ育成、リトミック等に取り組めます。
児童発達支援 ひだまりっこα	就学前の医療的ケアの必要な方や重い障がいを持った子どもたちが安心して通い、成長できる場所として、一人ひとりに合わせた医療、療育、家族看護の3つが揃った信頼される事業所を目指します。15時まで療育を延長し就労する保護者を応援します。ひだまりっこと一緒に活動してST、PT、音楽療法を取り入れます。
児童発達支援 ひだまりっこ ピーチ	「異年齢の集まりだからこそ芽生える心」 0歳から3歳まで…ミルクを飲んでいる子から先生と会話できる子まで… 異年齢の様々な個性の集まりです。年少の子は年長の子に憧れ慕い、年長の子は年少の子を思いやり可愛がり、家族と離れた時間に育まれるそんな心を大切にしていきます。
放課後デイサービス ひだまりα	医療的ケアの必要な方や重い障がいを持った方を対象に、一人ひとりにあった遊びの提供、人との関わりを大切に、子ども達がそれぞれの楽しみ方で過ごせ、保護者の方々も安心して通わせることができる場所を目指します。そして個々の日常生活や社会生活をより豊かに送れるように様々な支援を行います。

<p>放課後サービス ひだまり</p>	<p>小学1年生から高校3年生まで様々な学校の幅広い年齢の子ども達と一緒に過ごし、遊ぶ中で社会性を育てます。また保護者にお迎えに来ていただくことで、放課後の時間を長時間有意義に過ごすことができ、季節毎の企画やイベントを通じて、日常生活や社会生活をより豊かに送るための様々なスキルを育みます。そしてその日の様子をお伝えするなどご家族とのコミュニケーションを大切にしていきます。</p>
<p>生活介護 オレンジ</p>	<p>高校卒業後の18歳以上の方の生活の場として、それぞれの身体機能・体調・精神状態・特性に合わせた活動の充実を図ります。また製菓や製品作りと販売を通じて、社会参加と貢献を行います。そしてご家族の自由参観を定期開催していきます。</p>
<p>生活介護 オレンジの風</p>	<p>オレンジのご利用者の方のうち、医療的ケアの必要なご利用者を中心に活動します。看護師の複数配置により、より安全で快適な空間を目指します。 製品作りと販売を通じて、社会参加と貢献に繋がります。</p>
<p>居宅支援 アライブ</p>	<p>ご家族に信頼していただける事業所を目指し、24時間365日、医療的ケアに対応できるヘルパー派遣事業所として、ご家族に寄り添い、他事業所と連携し安全で細やかなケアの提供をしていきます。また休日・夜間の緊急時に相談支援専門員と共に可能な限り訪問し対応します。研修会を通じて、スタッフのスキルアップや新しい情報の収集を図り、ケアに生かしていきます。</p>
<p>ぶるーむの風 相談室</p>	<p>柏市相談支援機能強化・コーディネート事業を受託。柏市地域生活支援拠点として、南部地域の福祉ネットワークを担当。24時間365日、緊急案件等への迅速かつ幅広い対象者への相談支援を行える体制を整えています。また柏市医療的ケア児・者連絡会の事務局運営を通じて、柏市内の支援体制の課題の分析と構築・提言を担います。</p>
<p>共同生活援助 風の木</p>	<p>外部サービス利用型によるサービス提供の知的障がい者グループホーム 様々な障がいをお持ちの一人ひとりが、その方らしく過ごせる暮らしの場で、いつも賑やかで騒がしい日常の中にも温かな雰囲気が漂っています。ご利用者が中高年期を迎えつつあり、健康面での細やかな配慮に注力していきます。</p>
<p>共同生活援助 ぶるーむハウス</p>	<p>医療的ケアにも対応できる重度心身障がい者が暮らすグループホーム ①ご利用者と個人契約した重度訪問介護ヘルパーによる生活支援により、個々の利用者に寄り添い、利用者一人ひとりがその方らしく生活できる場所です。 ②「かけがえのない一口のため」に一人ひとりのご利用者に合わせておいしく楽しく安心安全な食事の提供と食事の介助に取り組んでいます。 ③個々のご利用者のペースでゆっくりとした時間を過ごしていただきます。 ④ぶるーむの風診療所と連携した、ご利用者の健康管理が特色です。 ⑤リフト、ストレッチャーや機械浴槽など支援者の身体的負担を軽減できる環境を整えています。</p>
<p>ぶるーむの風 診療所</p>	<p>「まちのかかりつけ医」として子供から大人まで、ご家族みんなの健康を支えます。 小児神経および発達障害の専門医として発達障がい専門外来日を設けています。 診療科目：小児科・発達外来、内科、予防接種、乳児健診など コロナ禍における発熱外来、PCR検査、ワクチン接種など地域の感染予防対策の一翼を担っています。</p>

2. 主な取組み

<p>児童発達支援 ひだまりっこ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流 隔月ペースで保育園交流会を計画しましたが、感染症拡大の影響で実施は4回です。 1年間通して交流を持つことで、子ども同士の関係を築くことができました。 健全児と交流を持つ機会は少ないとのことで、保護者の方からも好評でした。 ・スタッフ同士の情報共有、スタッフ育成 ミーティングにて、グループトークやスキルアップタイムを実施。 日々スタッフが違っても、継続した支援ができるように、情報共有しています。 ・リトミック 本年度は、不定期で楽器あそびに親しみました。支援の目標やめあてを事前に音楽療法の先生がスタッフに説明し、保護者への療育報告へつなげました。 ・遠足を目標に年間を通じた取り組み コロナ前の行事へ戻り、保護者会、電車遠足、ケーキ会食、上野動物園遠足3月実施。
<p>児童発達支援 ひだまりっこα</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児を積極的に受け入れ、保護者の就労支援のための9～15時の受け入れ。 ・保護者支援のための昼食デリバリー利用選択（ペースト食）。 ・保護者会の開催（きょうだい児も参加できるように、体育館貸切りでスポーツ大会を実施） ・ひだまりっこαのチラシを作成し、関係各所に配布。新規利用者獲得を図った。 ・保育園交流の参加 ・ひだまりと共同開催の花火・盆踊り大会 ・救急救命講習
<p>児童発達支援 ひだまりっこ ピーチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リトミック・楽器遊び ・マット・パラバルーン等を使った身体を使う遊び ・徒歩でお散歩（マンツーマンでピーチ裏の公園） ・地域交流（新柏駅・郵便局・交番他） ・オランダ家においてお買い物体験 ・生活介護オレンジ作成のすき紙を使用した敬老製作 ・Papap' 保護者会
<p>放課後デイサービス ひだまり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ公園へ外出、その他、近隣の公園や散歩などの外活動 ・朋生園祭へ参加 ・ケーキ会食（近隣ケーキ屋さんで注文しカフェで会食） ・2階訓練室の利用-身体を動かして遊ぶ部屋とゆっくりな部屋で分けて部屋を利用。 ・合奏や簡単な玩具制作を活動に取り入れた ・キャンセル待ちの再開 ・支援する会からの寄付金により花火大会を今年も実施
<p>放課後デイサービス ひだまりα</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プール →大きめのプールにゆったり入ることができた。 ・野菜の栽培 ・盆踊り&花火大会の実施 ・視線入力 EyeMoT の導入、EyeMoT 研修・体験会の実施（できわかクリエイターズ） ・認知コミュニケーション研修会の実施（松戸特別支援学校） ・虐待防止に関する研修会 ・環境整備（ブラインド設置） ・災害伝言ダイヤルの保護者への周知 →実施はしたが、振り返りはできなかった。

生活介護オレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策を講じながらの活動を継続、外出活動は基本自粛（公園等野外は除く）。 下半期は感染症等に罹患するご利用者が前年度に比べ顕著に増加したが、閉所をせずに年間を通して混乱なく活動を継続することができた。 ・定期的にご家族の自由参観を実施し、日々の活動状況を直接見ていただく機会として定着。 ・スタッフに対しては、月例ミーティングにて定期的に研修（主に介助に関する）を実施した。毎月第一土曜日に開催してきたが、毎日の報告をもとに即時的に対処および共有する日次ミーティングを通して、情報共有と改善遂行を図った。
生活介護 オレンジの風	<ul style="list-style-type: none"> ・16名の医療的ケアが必要な方々の対応を介護職の増員が出来たことにより、イレギュラーなご依頼も受ける事ができた。 ・感染予防対策を行いながら、秋には久しぶりの外出活動を楽しめた。 ・1月に2名の二十歳を祝う会を行いました。 ・質の高い制作品が作れるようになり、予約注文が多数ありました。 ・毎月時節柄に合わせた壁面装飾を全員で取組み、常に明るく華やかな活動室でした。
居宅支援アライブ	<p>新規契約 8件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい利用者4名 ・医療的ケアのある利用者3名 ・移動支援の利用者1名 ・ヘルパー獲得について ハウス対応 男性2名 女性2名
ぶる一むの風 相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・委託相談件数の増加については、業務の分担を図り、その事により今まで関わる事の無かった範囲の支援についても経験する事ができ、相談員のスキルアップになった。 ・ぶる一むが企画した研修について、柏市全体の事業所を対象とし、有意義なものとなった。 ・拠点としての地域別研修（GSVと意見交換会）を4回実施、南部地区の相談支援専門員のフォローアップに繋がった。 ・市民後見人養成研修や、土中学校教員向けの権利擁護・障がい理解研修に講師を派遣し、障がい理解や拠点の周知を図れた。 ・緊急短期入所の利用や、風らっとルーム経由の相談者の対応など、地域生活支援拠点の相談員として何が求められているのか、積極的に事案に関わる意識が必要と考える。
共同生活援助 風の木	<ul style="list-style-type: none"> ・法人主催「知的障害者高齢期について」 外部ヘルパー含め、風の木で働く全従業員に周知。 ・ヘルパー合同ミーティングでは、「虐待について」「リスク管理について」「自傷行為について」の研修を実施。 ・突発的な日中の支援を世話人、ヘルパーさんの勤務時間の調整を行い出来る限り対応した。 ・夜勤スタッフの不足により土曜日開所への拡大については実施できなかった。
共同生活援助 ぶる一むハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の充実した生活のために～ヘルパーを増やす～ ・専門性を高められるような取り組み ・ぶる一むの風診療所との連携 ・感染対策 ・災害及び緊急時対策 ・ぶる一むハウスの様子についての発信 ・「365日24時間 ハウスはご利用者のお家です」をかなえるために

<p>短期入所 ぶる一むハウス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ5類に移行後は、利用を差し控えていた方の 再利用が増え、利用差し控え期間や生活面身体面の等の変化がある場合には、再面談を実施した。 ・新規の申し込みも増えた。（特に医ケア） ・利用者や利用回数等の増加に伴い調整や、3床利用の日が増えた。 ・DV、虐待、精神面の不安定さなど緊急利用の問い合わせや利用もあり、都度相談室や関係機関と調整し対応した。 ・連泊でご使用中の日中にオレンジを利用することができなかった方が1名。 ・医ケアのご利用者について、見守りのポイントのレクチャーや入浴介助を積み重ね、積極的に関われるようになった。 ・支援方法（便汚染・食事の作り方、姿勢の整え方・服薬方法等）について、ご家族にお話を伺い、アドバイスをしながら、ご家庭で実施して良い結果につながった。 ・リフト利用が必要なご利用者増で、オレンジから可動式リフトを借りる機会が増えた。
<p>ぶる一むの風 診療所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般小児科診療、発達外来、健診、予防接種などの通常診療を継続。 ・コロナ禍以降流行が少なかったインフルエンザや溶連菌などの発熱外来対応の感染者患者や軽症の感冒の受診者数が増加した。 ・地域の診療所として認識され受診患者が定着している。 ・院長は柏市医師会理事（任期2年）になり、予防接種、定期健診、思春期保健、児童福祉部門専門など各種の市の保健行政に関わる業務に携わるようになった。 ・常勤看護師がふらっとる一むとのタイアップで子育て相談を継続的に実施。 ・昨年度から始まった通常学校における医ケア児の巡回相談のため3校訪問。

3. 利用実績

事業所名	開所日 数(日)	1日平均(人)			利用者人数(人) 月平均			延利用人数(人) 月平均		
		05年 度	定 員	05年 度	前年 比	04年 度	05年 度	前年 比	04年 度	05年 度
	児童発達支援 ひだまりっこ	268	10	9.2	104%	30	29	97%	199	206
児童発達支援 ひだまりっこα	222	5	2.9	73%	12	8	67%	74	55	74%
児童発達支援 ひだまりっこP	218	10	7.1	100%	22	23	105%	134	129	96%
放課後ケア いーびーすひだまり	275	10	6.4	93%	43	39	91%	160	147	92%
放課後ケア いーびーすひだまりα	229	6	7.4	116%	34	34	100%	123	143	116%
生活介護 オレンジ	285	20	15.8	78%	29	20	69%	472	376	80%
生活介護 オレンジの風	262	20	10.2	108%	19	19	100%	212	223	105%
日中一時支援 くり一む	—	—	—	—	14	14	100%	41	36	88%
居宅支援 アライブ	—	—	—	—	45	50	111%	316	333	105%
ぶる一むの風相談室	—	—	—	—	118	93	79%	—	—	—
共同生活援助風の木	—	—	—	—	6	6	100%	152	156	103%
共同生活援助ぶる一むハウス	—	—	—	—	7	7	100%	168	172	102%
短期入所ぶる一むハウス	—	—	—	—	24	33	138%	64	87	136%
合 計	—	81	59.0	98%	403	375	93%	2115	2063	98%

4. 主な行事实績

	法人	ひだまりっこ	ひだまりっこ アルファ	ひだまりっこ ビーチ	ひだまり ひだまりα	オレンジ オレンジの風
4月	笑福祭	入園・進級行事(手型・足型)	入園・進級行事(手型・足型)・個別支援計画	感覚遊び(新聞紙・泡等)・保護者会	調理活動・お花見・スタンプラリー・壁面制作・外あそび	調理・レク・デリバリー・自由参観・避難訓練
5月	理事会	徒歩遠足・公園遊び・保護者向け研修会	徒歩遠足・公園遊び・保護者向け研修会	戸外遊び・感覚遊び(ボールプール)・保護者会	母の日制作・リトミック・買い物ごっこ・個別面談	調理・レク・デリバリー・避難訓練
6月	評議員会	レク遊び・個別面談・保護者会	レク遊び	光遊び・個別面談	パネルシアター・パン屋さんごっこ・父の日調理・七夕飾り	調理・レク・デリバリー・自由参観
7月		水あそび調理(ゼリー)	水あそび・保護者会・調理(ゼリー)	水遊び・保護者会(親子でリトミック)	七夕・壁面制作・おい当てゲーム・壁面制作・夏祭り準備	調理・レク・デリバリー・避難訓練
8月		水あそびかき氷	水あそび・個別面談・かき氷	水遊び	夏祭り・水遊び・調理活動・花火大会	調理・レク・デリバリー・自由参観
9月		感覚あそび	感覚あそび・後期個別支援計画	感覚遊び・保護者交流会(ビーチフェスタ)	避難訓練・大玉パレー・敬老の日制作・魚釣りゲーム	調理・レク・デリバリー・避難訓練
10月		電車遠足 ハロウィン	市川動植物園遠足・ハロウィン	戸外遊び ハロウィンごっこ	運動会ごっこ・ハロウィン・壁面制作・ホットケーキ作り・後期個別面談	調理・レク・デリバリー・自由参観 後期個別面談・ 避難訓練
11月		お芋掘り・音楽あそび・劇あそび・野菜ハコ・勤労感謝	お芋掘り・音楽あそび・劇あそび・野菜ハコ	絵具遊び・地域交流	外あそび・輪投げ・勤労感謝の日調理・壁面制作	調理・レク・デリバリー
12月		クリスマスケーキ会食・クリスマス制作・年賀状制作・大掃除	クリスマスケーキ会食・クリスマス制作・年賀状制作・大掃除	クリスマス製作・合奏・保護者会(音楽療法体験)	年賀状制作・ケーキ会食・調理活動・クリスマス会・保護者研修会・実地指導	調理・レク・デリバリー・自由参観 避難訓練
1月		初詣・書初め・ごっこ遊び・調理	初詣・書初め・ごっこ遊び・調理	かきぞめ・ブラッシング	調理活動・書初め・お正月遊び・保護者会	成人式・書初め・調理・レク・デリバリー
2月		個別面談・動物園遠足	個別面談・バレンタインチョコ製作	ごっこ遊び・おひなさま製作・保護者会	節分・バレンタイン・避難訓練・新規ご利用者見学	調理・レク・デリバリー・自由参観 避難訓練
3月	理事会・評議員会	卒園式	卒園式	みんなの好きな遊び・卒園・進級を祝う会	ひな祭り・ホワイトデー・卒業を祝う会	調理・レク・デリバリー・避難訓練

5. 研修事業

講座名	実施月日	受講人数
喀痰吸引等研修（第3号）	6月24・25日	15名
高齢障がい者の支援研修	5月 21日	42名
重度障がい者の看取り期の支援について	2月 16日	18名

6. 職員講習会・研修

講座名	実施月	受講人数
救急救命法講習	6月 30日	16名
採用職員研修	7月 9日	16名
虐待防止研修	3月	全職員
ストレスチェック	10月	全職員
防災・防火避難訓練（各事業所）	年間延べ77回	延べ1,002名
防災・防火避難訓練（全体）	11月 15日	70名

7. 子ども食堂「ぶるーむクラブ」

	年間開催回数	延家族数	延利用者人数	ボランティア人数	合計人数
食事提供	13回	180組	629名	269名	898名
食材配布	12回	246組	710名	70名	780名

8. 風らっとるーむ（まちの保健室）

	年間開催回数	延参加人数
おや親カフェ（不登校・引きこもり当事者とご家族）	12回	156名
育カフェ（子育て中のご家族）	12回	105名
がんカフェ（がん患者とご家族）	12回	103名
子育て相談（小児科看護師による）7月より開催	25回	69組

9. 催事

笑福祭	4月 22日	来場者 約500名
-----	--------	-----------

10. 会議体

定例会議

理事ミーティング	毎月	常勤理事
部門長ミーティング	毎月	部門長
部門ミーティング	毎月	各部門内事業所管理者
リスク管理委員会	隔月	衛生委員会・感染症対策委員会・業務継続対策委員会・権利擁護委員会・虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会、こころの相談室（月3回）
スタッフミーティング	毎月	ひだまりっこ・ひだまりっこα・ピーチ ひだまり・ひだまりα・オレンジ
ヘルパーミーティング	毎月	アライブ

監査・役員会議

監事監査	5月
理事会	5月・3月
評議員会	6月・3月

1 1. 広報活動

ぶるーむホームページ更新	URL http://bloom.or.jp/
広報誌「ぶるーむ通信」	年3回発行(4・8・1月)
児童発達支援・放課後デイサービス	事業所評価アンケート&自己評価表の公開
地域の庭 公開	柏市カシニワ制度

1 2. 助成金・寄贈品

助成事業	助成内容
イオン柏店幸せの黄色いレシートキャンペーン	活動用品(オレンジ)
柏こども未来基金	こどもの居場所活動助成金(ぶるーむクラブ)
カシニワ活動助成	地域の庭の維持・整備活動費
夢まるファンド福祉支援事業	視線入力装置
イーパーツ寄贈プログラム	リユースPC

1 3. 公的補助金・助成金

助成事業	助成内容
EVステーション設置補助金	V2H充放電設備
キャリアアップ助成金	正職員転換コース・短時間延長コース

以上